



開発から製造、仕上まで一貫体制で行い、各部署が密に連携。若手社員も多く活躍し、意思疎通が取りやすい。海外の展示会やファッションイベントにも出展し、最新のトレンドやブランドの動向に触れられるのも魅力。「お客様のブランド価値を築くために私たちの仕事は存在します」と高橋専務が語る通り、技術と製品は世界中で高く評価されている

市場規模が大きく さらなる成長が期待できる 海外マーケットで勝負

ナカニシビジョンが海外をターゲットとしたビジネス展開を行う大きな理由が、市場規模の大きさだ。海外、とりわけ欧米では眼鏡やサングラスの需要が高く、市場規模は日本の約40倍とも言われている。その背景にあるのが、ファッション意識の高さだ。欧米では眼鏡はファッションの一部と位置づけられ、デザイン性の高いアイウェアが求められている。各ブランドも人気デザイナーとのコラボや最新トレンドを意識したコレクションを発表。消費者の中にも自分らしさを演出する手段として、アイウェアを楽しむ文化が根付いている。

また、健康意識の高まりにより、紫外線やブルーライトから目を守るアイテムとしてサングラスやメガネの需要が拡大。スマホやパソコンの長時間使用に伴い、視力が悪くなる人が増えたことでも眼鏡の必要性は高まっている。さらに経済発展を遂げた新興国でもおしゃれで価値のあるサングラスを求める人が増加しており、マーケットとしてまだまだ成長が期待できるのだ。

海外企業との取引に不可欠な グローバルコンプライアンス

そんな海外市場でグローバルブランドに認められるには、デザインを忠実にカタチにする確かな技術力と表現力が重要となる。バイリンガルの営業チームが窓口となり、お客様のニーズを的確にキャッチ。さらにブランドのコンセプト

を体现するための材料選定、構造設計、生産・加工技術、カラー展開、表面加工技術までを一貫体制で行っている。分業化が一般的な眼鏡業界で珍しい一貫体制を実現したことにより、多様かつ革新的な提案を可能に。世界に誇るメイドインジャパンの品質を生み出している。

海外企業と取引するには、品質のみならずグローバルコンプライアンスの遵守も不可欠だ。海外のトップブランドではコンプライアンスの強化が進んでおり、労働環境や人権、環境負荷など国際基準に対応している企業であることが取引を行う上で大前提となる。ナカニシビジョンでは、コンプライアンス管理システムを導入するなど早くから働き方や環境負荷などを見直し、人権や安全衛生を守って働ける職場環境を構築。今もブラッシュアップを重ねている。